

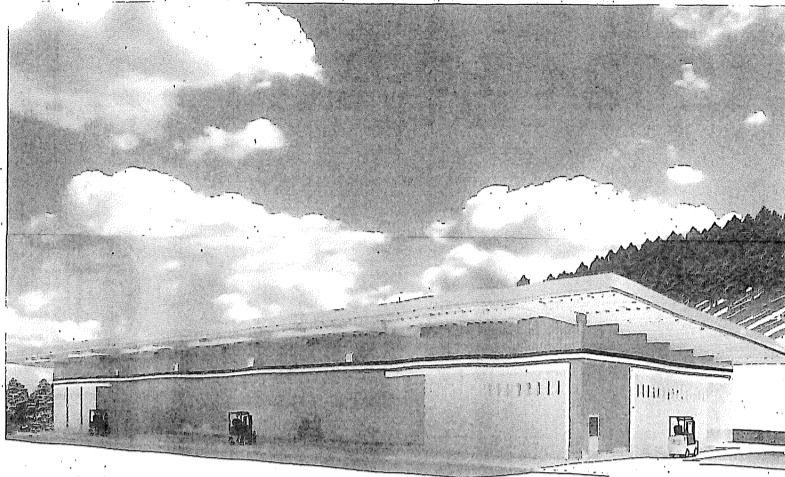
"究極のSDGsになる"

廃棄食材から飼料生産

南関町に新工場建設

カスケディア・トレーディング

南関町上坂下に今年完成予定で、さいたま市浦和区高砂に本社を置くカスケディア・トレーディング(石井寛文代表取締役)の工場兼倉庫が建設されている。同社は牛の飼育に使われる牧草・飼料の生産・輸入販売を主力事業としている会社。佐藤安彦町長も「工場が完成すれば新たな雇用も生まれ、町も活気づく。いち早く稼働できるよう町も応援したい」と期待をしている。



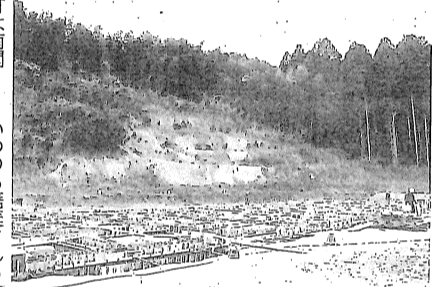
熊本南関工場の完成予想図



牧草は九州一円を商圏とする

新たに建設される同社熊本南関工場は同町上坂下にある陽光学園やイ・サイ化成の近隣の元採石場跡地に建設される。用地面積は約1万3300平方メートル、建築面積は約1500平方メートル。年間1千トンの飼料生産を目標としているという。同社は飼料生産施設を建設するのは青森県に次いで2カ所目。南関町への進出です。

を決めた理由について石井代表取締役は「熊本県は肉用牛の養育頭数では日本でも有数の県。隣接する鹿児島県、宮崎県を含めると北海道を上回るシェアを誇っている。熊本県は九州の中心に位置し、南関町は南関・菊水インターチェンジに近く、九州各地へのアクセスもしやすい。建設中の熊本南関工場は採石場の跡地であり地盤もよかったです。南関町への進出です。」



南関町上坂下に建設中の工場

カスケディア・トレーディング 本社(埼玉県さいたま市浦和区高砂2-11-13、2017年10月設立。代表取締役は石井寛文氏。主な事業は高品質なハイバスターン白飼料、アルファルファサイレージ飼料などの販売。生産者のニーズに合わせてオリジナルの混合飼料も生産。

「石井代表取締役は「当社は廃棄される食品を利用して飼料としてよみがえらせる事業。究極のSDGsになる」と語る。同社の青森県工場ではリンゴジュースを作る際に出るいわゆる「搾りかす」を使い飼料を生産している。今後、家畜飼育業者とタッグを組み、それらを食べて育った牛をリンゴ牛「リンゴ豚」などブランド化していく構想もある。リンゴ以外にもその地で採れた特産品を再利用して「全国で地産地消が、より活性化される事業を広めていきたい」と話している。(草野正)

謹んで新春のお慶びを申し上げます

令和6年 二月

出典:有明新報2024年(令和6年)1月1日(月)